# Nexus Point Information

### 本日のスケジュール

10:30am ~ 11:30am この男子、宇宙人と戦えます。

山本 蒼美

旅するぬいぐるみ 〜 traveling "Daru" 〜 田沢 潮

11:30pm ~ 嫌われ者のラス 岡村 頼保

正午~1:00pm 英国ナショナルフィルム、TV スクー ル・ロンドンのプレゼンテーション

ポール・ブッシュ 1:00pm ~ 2:00pm 「ハーバーテイル」解説

伊藤 有壱 2:00pm ~ 3:00pm ディズニーはどのような人材 を求めているのか?

ドーン・リベーラ

3:00pm ∼ 4:00pm モールでアニメーション&ワークショップ モールアーティスト キタナカアツシ

4:00pm ~ 5:00pm ダイノ サトウ プレゼンテーション ダイノ サトウ

5:00pm ~ 6:00pm イリーナ・マルゴリーナ セミナー Q&A イリーナ・マルゴリーナ

### **Today's Schedule**

10:30am ~ 11:30am "This Boy Can Fight Aliens" Soubi Yamamoto

Traveling "Daru" Ushio Tazawa

11:30pm ∼ Living Trash LAS Yoriyasu Okamura

Noon ∼ 1:00pm Presentation of the National

Film and TV School, London, UK Paul Bush

1:00pm ~ 2:00pm "Harbor Tail" explanation Yuichi Ito

2:00pm ~ 3:00pm What kind of talent is Disney looking for? Dawn Rivera

3:00pm ∼ 4:00pm Pipe Cleaner Art Animation & Workshop Pipe Cleaner Artist: Atsushi Kitanaka

4:00pm ~ 5:00pm Dino Sato presentation Dino Sato

5:00pm ~ 6:00pm Irina Margolina Seminar and Q&A Irina Margolina

## 本日のスケジュール

11:00am - 正午

参加校プレゼンテーション (中学生向け)

12:30pm - 1:00pm

東京芸術大学によるプレゼンテーション

1:00 pm - 1:30pm

大阪デザイナー専門学校によるプレゼンテーション

1:30pm - 2:00pm

穴吹デザイン専門学校によるプレゼンテーション

2:30pm - 3:00pm

アート・アニメーションのちいさな学校によるプレゼンテーション

エデュケーショナル・フィルム・マーケット Educational Film Market

3:00pm - 3:30pm

ミニセミナー「学生の皆さんへ」大西宏志

3:30pm - 4:15pm

ミニセミナー「多摩美と関東学院におけるアニメーション教育」佐藤皇太郎

### Today's Schedule

11:00am - Noon

Presentation by the Educational Institution (For junior high school students)

12:30pm - 1:00pm

Presentation by Tokyo University of the Arts

1:00 pm - 1:30pm

Presentation by Osaka Designers' College

1:30pm - 2:00pm

Presentation by Anabuki Design College Hiroshima

2:30pm - 3:00pm

Presentation by Laputa Art Animation School

3:00pm - 3:30pm

Mini Seminar "For Students" (Hiroshi Onishi)

3:30pm – 4:15pm

Mini Seminar "The Education of Animation by Tama Art University and Kanto Gakuin University" (Kotaro Sato)

# Frame in information

# 本日のスケジュール

正午~ エリック・レイサーセミナー O&A CLAY INSTALLATION 他 小山 英治 1:30pm ~ 広島市内中学校アニメーション上映 2:00pm ~

ガメオペラ 広瀬 勇人 3:00pm ∼ 植田 翔太作品集 3:30pm ∼

イゴール・コバリョフセミナー Q&A 4:00pm ~

最終日に再度上映可能

もう一度フレーム・インにカムバック

# Today's Schedule

**Noon**— Eric Leiser Seminar Q & A

1:30pm - CLAY INSTALLATION etc. Eiji Koyama

**2:00pm** - Play Animation production by junior high school

students in Hiroshima city.

**3:00pm** - Gameopera Yuto Hirose **3:30pm** - Shota Ueda collection

**4:00pm** - Igor Kovalyov Seminar Q&A

Replay is available on the 27th.

Please come back and ask the staff at Frame In

# From the Editor's Room

今年が初参加の新米のうえ、2日間という短い間でし たのでお役にたてたのか?ですが、年代性別国籍問わずアットホームな編集部はとても居心地がよかっ たです。ありがとうございました。(花)

could work only two days, I'm not sure that I could be a help. However, I really like the homey atomosphere of the editorial ing here till 23:00 but I am still soooooo fine!(Tsuhara) department. Thank you! (Hana)

ブリティン班は初めてで、毎日色々な発見があります。新し い人との出会いや作品との出会い。精一杯頑張って、精一杯楽しませていただきたいと思います!(社田)

As I'm new to the Editor's room, I encounter something new every day. Meeting with new people, seeing the film I have never seen weekend, I will be careful about keeping good in shape before · · · I will do my best and fully enjoy the Festival! (Yashiroda)

初めてのボランティアでしたが、みんな親切でとて もいい経験をさせてもらっています。毎晩のパーティーが楽しすぎて毎日 23 時頃まで居残りしてますが、まだまだ元気です!(津原)

As this is the first time for me to make LAPPY NEWS and I It is my first volunteer experience but everyone is so kind to me and I am enjoying my volunteer days. I keep stay-

> 初めてのデイリーブリティン班。昼食後のあくびがとまら ない。来週の富士山登山まで疲労が残らないよう仕事を します。(滝口礼)

First time to join the Editor's Room. I cannot stop yawning after lunch. Until I climb Mt.Fuji next and work on the job. (Ray Takiguchi)



LAPPY NEWS August 26

THE 14TH INTERNATIONAL ANIMATION FESTIVAL HIROSHIMA 2012

第14回 広島国際アニメーションフェスティバル

フェスティバル日報

Daily Bulletin



In Memory of Nobuhiro Aihara (1944-2011)

昨年他界された才能あふれる アーティスト相原信洋さん (1944-2011) を偲び世界中か ら寄せられたメッセージ集。 (ASIFAマガジン2011 年冬 号 Vol.24. No.2 掲載記事より 一部抜粋)

旅を愛した相原信洋氏は、四月 に私たちのもとを旅立ちまし た。いつものように、「じゃあ、行 ってきます。後はみんなに任せ ました」と言い残して。彼はバリ 島から天国に発ったのです。 信洋氏はスーツケースにいつ も、トレース台とアニメーション 用紙、色鉛筆にスケッチブック、 それと、お気に入りのカラフル な服をつめこんでいました。彼 は息をすることや、食事をする のと同じぐらい当たり前に絵を 描き、アニメーション制作をして いました。彼は真の意味で、稀 有なアニメーション作家のひと りでした。

相原信洋氏のショート・アニ メーションは、とても実験的 で抽象的なものです。しかし、 同時にとても柔軟でセクシ ー、時に官能的でさえありま す。しかし、彼の作品は繊細 で品格があり、洗練されてい ます。ちょうど、彼の生き方と 同じです。

初期の作品「逢仙花(12分、 1973)」で表現されているよ うに、信洋氏は若いころ、祖 母の死を家で看取りました。 彼の両親は祖母を敬いなが ら、かいがいしく世話をしま した。祖母のやせて骨ばった 体と、季節の移り変わりから、 信洋氏は私たちの命に限り があることに不思議を感じま した。そして、命の誕生とそれ を高めることに興味を抱くよ うになりました。

(2ページ目につづく)

commemorating the talented artist, Nobuhiro Aihara.

(Excerpt from an article in ASIFA Magazine Winter issue graceful and sophisticated. It vol.24.No.2)

Nobuhiro Aihara, who loved traveling, left us again this April saying just as usual, 'So, I am going now! I leave everything to grandmother at home. His you all, thanks!'...He left us for parents were taking care of his heaven, via Bali.

In his suitcase, Nobuhiro always carried his light-box, animation rough and bony body of his paper, color pencils and a sketch notebook. And some colorful shirts he loved. Nobuhiro contin- felt the mystery of our limited ued drawing and animating life, and he was deeply ceaselessly, just like breathing impressed by the birth and the and eating - he was one of very ascending of life. rare animation filmmakers, in the true sense of the word.

Nobuhiro Aihara's animation shorts are very experimental and abstract and, at the same

Messages from all over the world time, very flexible and sexy, sometimes even sensual, but his works are very fascinating because they are all refined, was just the way he lived.

As described in his earlier short Hosenka (12 min, 1973), in his youth, Nobuhiro closely experienced the passing away of his grandmother warmly, with sincere reverence. Through the grandmother, and through the transition of seasons, Nobuhiro

(Continue to page 2)

彼は古代から今に受け継がれ てきた「命」を――男と女の間 の重要な秘密、我々の魂が不 可視の姿へと帰すことの神秘 を――描き続けるようになり ました。

信洋氏の深い洞察は風のよう です。確かに存在するのに、見 ることはできないのです。けれ ど、それは彼のアニメーション 作品にも、生き方にも反映され ています。私は信洋氏のような アーティストにはもっと長生き してほしかったと願ってやみま せん。しかし、同時に、彼は自 分の最後の旅を予期してい て、いつ人生が終わっても良 いようにベストを尽くし生きて いたのではないかと思います。 誰もがこんな風に生きたいと 思いますが、ふつうの人にはと ても難しいのです。

心から相原信洋という偉大なア ーティストに追悼を捧げます。

#### 木下小夜子 ASIFA 日本支部会長

この十年間、こんなことが毎年 繰り返されてきました。春にな って暖かくなってくるか、秋が 来て寒くなってくると、彼はプ ラハにやってくるのです。花柄 のシャツを着て、かかとの高い ブーツをはいて、三つ編みにし た濡れ羽色の髪をつばの広い 黒い帽子でおおって。わが友、 相原教授は 20 名ばかりのひ よっこの学生たちと一緒でし

#### イジィ・クビチェク

長い髪と明るい色のシャツ。朗 らかな笑顔。相原信洋氏は広 島国際アニメーションフェステ ィバルでもひときわ目立って いました。そこで私は彼と最初 に出会い、その後再会しまし た。教授仲間として、独立した アニメーターとして、彼は教育 の世界に根づいた自由な魂で した(のちに知ったのですが、 相原氏は商業アニメーション の世界にも土台がありまし た)。私たちはお互いに作品の ディスクを交換し、コーヒーを飲 みながらおしゃべりをしました。 初期の DVD 作品 'Animation Scrap Diary and Live Paintings Animation'で、相原氏は 同僚とライブ・パフォーマン スの競演/共演を行いまし た。ちょうど、映画の時代の前 にあったクイックスケッチ(ラ イトニングスケッチ)の芸人の ように、観客の前で大きなパレ

ットに絵を描くのです。 後期の作品では、イラストレー ションを実験的アプローチと 抽象作品への探求に融合させ ることで、卓越した技術を示し ました。私たちは、まだ誰も試 みていないスポンテニアスな アニメーション描画の手法に ついて、共通のアプローチを 持っていました。私が最初に、

Memory of Red(2004)'という 彼の作品を見たとき、赤いチョ ークのかすれが、私の初期の 作品の' Help, I' m Stranded… (1977)'を思い出させました。 しかし、彼はより深く踏み込ん でいました。チョークのかすれ に見える描画が、全体では調 和を持っていました。私は、ラ イブ・パフォーマンスでの共 演のように彼とつながりを持 ちたいと思って、自分の作品を どう思うかを聞いたことがあり ます。彼は笑ってこう言いまし た。「あなたの作品を気に入り ましたよ」と。私も彼の作品が 好きです。とても、寂しくなるで しょうね。

#### ディアナ・モース

広島国際アニメーションフェス

ティバルの選考委員という困

難な仕事を引き受けることの

楽しみのひとつは、選考委員メ ンバーとの友情を深めること にあります。私は 1994 年のフ ェスティバルで相原信洋氏と 共に選考委員を務めるという 栄誉に預かりました。信洋氏と 働くことは、喜びでした。800 ものフィルムに対する彼の聡 明で繊細な意見やコメントに 触れたことはもちろん、一緒に 広島の名物を求めてあれこれ 探索したのも良い思い出で す。私たちは仕事の後、レスト ランやバーへ行ったものでし た。彼は、私たちのために注文 をします。そして、運ばれてき た料理への私たちの反応を見 て、いたずらっぽく目を輝かせ るのです。料理は素晴らしいも のもあれば、言葉にするのが 難しいものもありましたから! 信洋氏は、1997 年 Abslot Panushka のウェブページの 最初期に私が作品を紹介した アーティストのひとりでした。 彼のアニメーションフィルムは 飛び抜けてユニークで個性的 でした。彼の複雑で辛抱強い、 愛すべき世界観を反映してい ました。彼は本当の価値に見 合うほど世間には知られてい ませんでした。私は、その美し い作品をすべての人に見て欲 しいと思いました。信洋氏の逝 去は残念でなりません。彼の 作品を紹介する機会があった ことを誇りに思います。アニメ ーションを通じて自身の魂の 深みを描いた彼の技術は、世 にふたつとない卓越したもの でした。彼の存在は宝でした

し、これからもそうです。 クリスティーヌ・パニュシュカ

He kept drawing 'life', which has been inherited from ancient times, the important secrets of men and women, and our soul returning to invisible nature itself...

Nobuhiro's deep insight is like a wind – it exists but cannot be seen. Yet it was reflected in his way of life. I truly hoped that an artist like Nobuhiro could live longer. At the same time, I think that he predicted well his final trip, and I think he always lived his best so that his life could come to an end at any time. As you know, everyone wishes to end like this, but it is something really difficult to accomplish as a normal human

I miss our great artist Nobuhiro Aihara very much.

#### Sayoko Kinoshita **President of ASIFA Japan**

This became repeated with absolute regularity. Last ten years, every spring, when warmth arrives and every fall, when cold arrives, he appeared in Prague. Flower shirt, tall boots, black hat with wide brim covering braided, raven black hair, followed by 20 tiny chicks. My dear friend, Professor Aihara, with his students.

#### Jiri Kubicek

With his long hair, brightly coloured shirts and bright smile, Nobuhiro Aihara stood out at the Hiroshima International Animation Festival, where I met and re-met him over the years. As a fellow professor and independent animator, he was a free spirit grounded in education. (Later, I learned he was also grounded in commercial animation.) We exchanged discs of our work with each other, enjoyed coffee and conversation.

In his early DVD Animation Scrap Diary and Live Paintings Animation, Alhara and a colleague stage live-performance drawing collaboration/battle. Like the pre-cinema Quick Sketch artists (Lightning Sketchers), they work on a large palette, in front of a crowd of admirers.

In his later work, he showed his skill at illustration, combined with his explorations of experimental approaches and abstraction. We shared an approach: to create spontaneous animation sketches, using alternate techniques. When I saw his film Memory of Red (2004), the red chalk rubbings reminded me of my early short Help, I'm Stranded...(1977). But he took it much further -

including drawn images that felt like rubbings, but meshed as whole. Wanting to be connected, like a live-performance drawing collaboration, I asked him once if my film had inspired him. He smiled and said, 'I like your work.' I like his work, too. I will miss him.

#### Deena Morse

One of the great pleasures while undertaking the arduous task of serving on an animation selection committee is forging close friendship with your fellow committee members. I had the honor of serving on the selection committee for the Hiroshima International Animation Festival in 1994 with Nobuhiro Aihara. Working with Nobuhiro was delight. Not only was he wise and sensitive in his opinions and comments on the 800 films we watched, but exploring the culinary delights of Hiroshima with him was great fun. After a day of work, we would walk to a restaurant or bar. Nobuhiro would order for us, his eyes would sparkle with delight and mischief as we experienced and reacted to the treats presented, some wonderful and some would be very difficult to put into words! Nobuhiro was one of the first people whose work I showcased on the Absolut Panushka website in 1977. His animated films were extraordinary, unique

and personal, reflecting his complex, patient and loving worldview. He was not as well known as he should have been and I wanted everyone to see his beautiful work. I will deeply miss Nobuhiro and I am grateful that I had the opportunity to celebrate his art. His ability to portray the depth of his spirit, in animation, was outstanding, rare. He was, and is, a treasure.

#### **Chrisitne Panushka**



# 監督記者会見 **Animation Festival Competition 2 Press Conference**

8月25日午後4時30分からコンペティション2の監督記者会見があり、各自の作品について語られました。 August 25th, 4:30pm Artists talk about their work



#### ノネ・ケニエ Rene Chenier

# ロマンス

Romance 「ロマンス」は、75周年を 祝うNFB (カナダ国立映画 制作庁)のバックアップを 受けてスイスで制作されま した。私はエグゼクティブ プロデューサーですので、 cal services to finish the 直接制作には携わってい film. ませんが、ジョルジュ・シュ ヴィッツゲベル氏との「ロ マンス」の制作過程では、 彼がスイスでグラフィック スを行い、インターネット で我々NFBとやりとりをし ていました。また、映画祭 などで実際に顔を合わせ、 ビジュアルなどについて共 有しました。そしてそのビ ジュアルが完成したところ で、NFBのスタジオに来て もらい、仕上げを行いまし た。常時彼に対して設備を 提供できる訳ではないか らです。たいていの場合、 制作者には、住んでいる所 で作業をしてもらい、その 後、NFBに来てもらい、備え てある設備を使って仕上 げてもらいます。

"Romance" was produced in Switzerland, and the NFB (National Film Board) which is celebrating its 75th anniversary, supported its production. As an executive producer, I am not working directly on a

daily basis with this project, but we do work with George, who does all the graphics in Switzerland, working mostly via the Internet. We actually get together at festivals and discuss the visuals. Then we invite George to come to our studio for the post production, because we can't always provide with technical services. We usually leave filmmakers where they work, and they come to use our techni-



Chroniques de la poisse

この作品はこれから作成し

ようと考えているシリーズ 作品の第一作目です。魚の 頭を持つ主人公のジンク スは言葉を話すことが出 来ない代わりに、彼は憂鬱 な気持ちを溜息で表しま す。その溜息と共にでる泡 が誰かに付いたとき、その 人は悪運に見舞われてし ます。私たちの住む世界は 何かを信じても、それが報 私が制作を始めて2年目 われるとは限らない不条 に完成したこの作品は私 理ともいえる世界です。そを含む3人で作成し、多く

で過ごしている人もいると 思います。私も持つその悲 観的な感情をこの作品で 浄化できないかと思いこ の作品を作りました。 This is the first film of a series that I am going to

complete. The main character with the head of a fish, named Jinx, can't speak. Instead of speaking, he shows his gloomy feelings by giving a sigh with a bubble. When one of his sticks someone, that person is going to be in big trouble. The world we live in is an unreasonable world. Even if we believe in something, or pray for something, it can't always be paid off. I think that some people see this world with a pessimistic point of view, and I hoped to express this cathartic feeling by making this film.aid off.



Eleonora Berra パーティション

**Partition** 

んな世界を悲観的な思い の大会で評価をいただき

初は2Dでしたが3Dに 移行することに決め、どの ようにすれば2Dを3D で表現することが出来るか の考想を重ねました。そし て紙とワイヤーを利用すれ ば2Dを3Dで表現でき るのではと考えこの作品を 作りました。薄い壁紙で隔 たれた二人の登場人物は、 その壁を通じて交流を深 めていきます。しかし関係 を深めていくにつれ壁は 崩れ、二人は水の海へと呑 まれていきます。人間関係 とはお互いを知る喜びと、 一方で何かを失うのでは ないかという怖さの二面 性を持っています。そのよ

うな現代の人間関係を表

現した作品です。

This is a work from the second year in my animation career. made this film with Delia Hess and Shami Lang-Rinderspacher. Our work has been received well internationally and we appreciate the support. At first, we intended to make a 2D film. However, we decided to make it in 3D, and deliberated how we can make it possible to change 2D into 3D. In conclusion, we thought that paper and wire were the best materials. characters separated by a fragile wall deepen their relationship with a wordless conversation through  $_{
m the}$ wall. However, as their relations are become deeper and deeper, the wall collapses and they

成功した作品です。作成当 are swallowed up by a world of water. There are two aspects of human relations, one is the delight of knowing each other, and the other is the fear of losing someone. We express such a modern relationship in this film.



グレース・ネユーン・リ・ Grace Nayoon Rhee トライアングル

TRIANGLE 私は以前に「view」という 家族関係に関する映画を 作り、人間関係というテー マを続けたかったので今 度は友達との関係に注目 しました。次はロマンチッ クな人間関係でシリーズを 完成したいと思っています。 「トライアングル」のストー リーは私の実体験に基づ き、友達の間のバランスが 崩れるとトラブルが発生す ることを見せたかったので す。三番目のキャラクター は三角関係を表す存在と して表現しました。

絵のスタイルはディズニー の「ダンボ」の中のピンクの 象の幻覚を見るシーンか ら影響されました。

▶ 4ページへ続く Continued to page 4

I had previously done a film called "view" on a relationship. family Therefore I wanted to continue exploring the theme of relationships and so looked at a more general relationship between friends. I hope to look at a romantic relationship in my next work to complete the series.

The story "Triangle" is based on my own experiences of friendships and how rifts can arise when the balance between the people are disrupted. The third character is a visual reminder of these often difficult triangular relationships.

The artistic style was influenced by the scene in Disney's "Dumbo" where Dumbo sees the hallucination of pink elephants.



### ヘッド オーバー ヒールズ HEAD OVER HEELS

この作品は、私がイギリス にいたとき、彼女がアメリ カにいたという個人的な経 験をもとに作りました。アメ リカにおいて文化的な分 断があり、これはここ数年 でとても大きな問題になっ ていると思います。このよう な今まで考えてきた様々な トピックを今回の作品で表 現しました。撮影方法は、 難しかったと思われかもし れませんが、いくつかの技 術を使いました。例えば、 女の人が天井に立ってい るシーンでは、全体像を見

なくても天井に立っている、 賛と支えを感謝していま 一番力を入れました。 ということがわかるので天す。 井を外して撮影したりしま

This film is based on my personal experience of being separated long distance from girlfriend when I was in England and she was in U.S. I think the cultural division in the U.S. has become the biggest problem during the past few years. I filmed the topics that I was thinking about. My way of shooting was, you may think difficult, but I used some tricks. For example, in the scenes where the woman was standing on the ceiling. we can recognize this

without

the time.



seeing her

entire body, so we didn't

have to shoot full body

for both characters all of

ユリヤ・ルーディツカヤ Yulia Ruditskaya プリーズ、コールバック レイター Please, Call Back Later

この作品はソウルに行く仕 事から始まりました。ソウ ルとアジアは初めてなの で、とても感動的でまるで 新しい世界を発見したよう に感じました。私はとても この作品を作るためにソウ ルに行かせてもらって感謝

しています。 この作品を世界でも最も 素晴らしいアニメ映画祭の ても光栄に思っています。 日本のフィルム文化から学 べることもたくさんあると 思いますし、観客の方の称す。その為に、目の動きにも感銘を受け、いつかは自

The starting point for making this film was when I got an assignment to go to Seoul. I had never been to Seoul or anywhere in Asia before and so it was a real eve-opening experience as I felt I had discovered a whole new world. I am really grateful to have this opportunity to make this film and to have been able to visit Seoul.

And I am also feel it is a great honor to present work here in this Hiroshima, at one of the greatest animation festivals in the world. I feel we can learn a lot from the film culture in Japan and I would like to thank the audience for their attention and support.



ヨハン・ウィッティンガー lohan Oettinger

ワルシャワゲットーでの7分間 Seven Minutes in the

Warsaw Ghetto この作品は子どもであるこ とと子どもの精神について すると天板が開いたり、そ です。まず、人形に動きをの中にたくさん物を入れる つけてから目を合わせま事ができるので、空母なの した。それはなぜなら、もしかもしれません。テーブル 目を先につけてしまったら、のデザイナーが日本人だ 独創的なアイディア、例え ば書くこと、速さや時間をを使うことにしました。また、 制限することになるからで 折り紙からもヒントを得て す。アニメーションを作ると います。紙の軽快感に比べ き、最大限自由に、また最ると、実はテーブルは大き 大限独創的になりたいも く重いものでした。 広島で公開できることをとのです。この作品で人間の6年前でしたが、大学1年 目を使った理由は、人形に 生の時に日本を旅してい なめらかでリアルな動きと た時、作品は出していない 感情を与えたかったからで ものの、この映画祭にとて

This film is about being a child and a child's spirit. Firstly, animated the movement of puppets and then, I composited the eyes. This is because if I do the eves first, creative ideas, such as writing, pacing and timing would be limited. When I direct animation, I want to be as free as possible and as creative as possible. The reason why I used human eyes in this film is that I wanted the puppets to be subtle, and have realistic movement and emotions. After all, the strongest part of acting is in the eyes.



Kuubo

Kuuboは、テーブルの広告 として制作しました。作品 のタイトルはこのテーブル をデザインしたデザイナー から与えられたものです。 どうしてそうなったのかは 分かりませんが、ひょっと ったので、この作品には紙

Kuubo is actually an advertisement for the table. The title of this film was given by the designer who designed the table. I don't know where it came from but it could be "Kuubo" (aircraft carrier in Japanese), because the table top opens like a hatch, and you can put a lot of stuff like a laptop in it. I chose to make this with paper, because the

I think it was 6 years ago when I was a first year student without a film, just traveling in Japan, and I was very impressed by the festival. I was looking forward to coming back with my own movie, and I am very honored and proud that I can be here now, and to be a part of

designer is Japanese,

and also I was inspired

by Origami. The paper is

light, but the table is

very heavy and big.

分の作品を携えてここに戻

ってきたいと思っていまし

た。この度、参加する事が

でき、光栄に思うとともに、

誇らしく思います。



**Tianran Duan** イン ビトゥイーン シャドウズ

In Between Shadows

私は中国出身ですが、現 在はアメリカを拠点にして います。この作品は、名前 の通り、空間や影を題材と しています。制作するにあ たり、時と空間といったも のは定義がしにくいため、 理解を深めるため、色んな

本を読みました。地球の反 対側を見ると逆さまにな っていますし。そういうわ けで、作品において家を 上下逆さまにしたりしまし

訪日は初めてで、この映画 祭は非常に素晴らしいと 思っています。多くのアー ティストが参加しており、 日本の観客に感銘を受け ています。親切であり、礼 儀正しいです。また将来、 この映画祭に戻ってきた いと思っています。

I am originally from China, but now I am mainly working on films in the United States. The topic of this film is

KIYOMORIもよろ

space and shadow as vou can read from the title of the film.

Before making this film, I read many kinds of book to deepen my understanding of space, shadow and time. It is very difficult to define things like time and space. If you go to the other side of the planet, everything is upside down. That is why I put

This is the first time to visit Japan. I found that this animation festival is very amazing. Many artists are gathering,

a house upside down in

the Japanese

and I

audience. They are all kind and polite. I hope to come back here in the future.

аm

verv



rain town

Hiroyasu Ishida

この作品は、雨を一つのテ

ーマにそこから連想するよ うにふくらませていったも のです。

雨を題材に選んだわけで すが、特段、環境問題を意 識して選んだわけではあり ません。率直に単純に、自 分が抱いていた過去に対 する思いを具現化しただ けです。

前回、この広島国際アニメ ーションフェスティバルに 一般の観客として参加しま した。今、こうして自分の作 品がノミネートされている います。

I expanded one theme and associated it with many other things. That

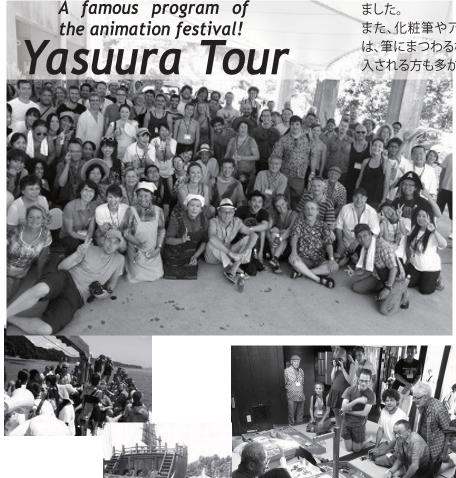
is how this film was produced. I chose rain as the topic, but I am not particular about it as a viewpoint or environmental issue. Frankly speaking, I just wanted to express my thoughts toward the past that I

Last time this festival was held. I came here as regular audience member. But today, I am so honored to be here as ことを非常に光栄に思って a guest space, and I am so grateful that my film has been nominated.

# アニメーションフェスティバル名物企画!

the film

安浦ピクニック



8月25日(土)に行われた呉市安浦町のピクニックには、およ そ100名のゲストが参加。

瀬戸内海に浮かぶ無人島・柏島で海水浴や散策をしたの ち、「グリーンピアせとうち」にてバーベキューを楽しみまし た。世界中から来たゲストが、国の垣根を超えて交流を深め

また、化粧筆やアニメ筆で有名な熊野の「筆の里工房」で は、筆にまつわる様々な展示に皆興味津々。お土産に筆を購 入される方も多かったです。

> On August 25th (Sat), about 100 guests participated in the Picnic in Yasuura town, Kure City. At Kashiwajima, which is an uninhabited island in the Seto Inland Sea, the guests enjoyed bathing, swimming and taking a walk. After that, they had barbecue for lunch at 'Green Pier Setouchi'. The guests from all over the world strengthened the cultural exchanges beyond countries.

> Also they visited 'FUDENOSATO KOBO', well-known for the cosmetic brushes, brushes for animation etc. They were very interested in a lot of exhibitions of brushes. Many guests bought the brushes as souvenirs.

ビジュアルアーティスト 倉島正彦インタビュー 「時間の流れを確認するための場」 インスタレーション作品 腹想の部屋のための「起源」 - 受 - 心母 - 胎 -

Visual Artist Interview: Masahiko Kurashima

'A place to enquire about the passing of time' **Installation Work:** 

## Beginning of life-be fertilized-heart of mother-an embryo-

コンクリートの塊のアステールうに感じました。」 プラザの 4 階の奥の和室。引き 戸の敷居をまたいで玄関で靴を 脱ぎ 60 畳の大広間に入ると、 敷き詰められた畳の上に2つ の大きな映像が投影されている。 2 台のプロジェクターからの光 以外はほとんど真っ暗な空間。 足元だけが極彩色の曼荼羅の ような映像、さながら動く光の絨 毯。その絨毯は奥行きがあり 時々足元の一部が抜け、奈落の 底まで続くかのような景色が現 れたかと思うと、原初の生命の 源のスープがゆったりとたゆた う河のようにも思える。その空間 の中で倉嶋氏が語ってくださっ

倉嶋氏「こっちの(派手なほうの 映像が)日常の世界。もう一方の (白っぽい映像が) あの世の世 界です。お客さんにはどちらか の映像の中心に立ってもらいま す。…ちょっと来てください。この あたりで平衡感覚が失われるよ うに感じるところがあります。し ばらくここに立って映像の中心 を見てください。」

20 代の男性が暫く映像の中心

お客さん「自分が浮いているよううれしいです。」

倉嶋氏「こうしたこともこの作品 の効果のひとつなのです。」 お客さん「映像の中に引き込ま れるように感じますね。」

倉島氏「映像を見たときにス トーリーを追いかけるっていう 習慣がありますよね。そうじゃな くて、この作品では、時間の流れ をこの作品によって改めて体感 するって言うか…。

それが一番根底にあるような気 がします。見る人のイマジネー ションで、何かを考えていくうち に時間だけが流れて行くような、 そうやって考えている瞬間が今 回のテーマである瞑想みたいな ところに繋がっているのかなと 思います。このシチュエーション で自分自身この部屋にいる間に そんなことを整理することがで きたと思います。不思議な効果 を生んでくれたと思います、この 和室っていう空間が。ギャラリー ではこうはいかないんですよね

インタビュアー「本当に不思議 な空間です。|

倉嶋氏「とくに外国の方の感想 というか、リアクションを感じた いなと…声をかけていただけた

concrete heart of the Aster Plaza. On the fourth floor, open the door and step into a lobby, take off your shoes and you will enter a room 60 tatami mats in size. The tatami has been used as a screen, and two images are projected onto them surrounded by darkness. The second projector is emitting less light and is of a darker image. On the floor, there is also a very colorful image of a Mandala. A carpet of movement and light, this carpet has perspective, and sometimes a part of the screened image causes us to feel like the floor will disappear. It feels like hell is opening up, and it is a little scary. This image is primordial, and it seems like our life is also flowing in this slow river. In the midst of all this, Masahiko Kurashima is talking about the work itself.

The location is deep in the

"This brighter image is the everyday world, and the other represents in its lightness the after-life."

He wants the audience to participate by standing and focusing on one of the images. One person is selected from the audience. "Please come here" Kurashima gestures.

"You will experience slight unbalance when you stand here...'

A young man in his twen-

ties stands there for a while in the image.

"I feel like I'm floating!" He

"This is a part of the installation ... "Kurashima

"I feel like I' m being pulled into the image ... "He continues.

"Whatever the image, we always feel like we are searching for something. This work represents only the passing of time, and your experience is such. This is perhaps the most impressive part of the installation. I wanted you to experience this feeling and to use your own imagination. Whatever you think about, time is passing. The moment you are thinking about is related to this meditation. Sometimes, in this situation, you feel like you are able to clear your mind. The atmosphere and setting of the tatami room was perfect for this kind of installation, and it would have been difficult to achieve this in a regular gallery.

Interviewer: "Yes, it really is a peculiar atmosphere..." Kurashima: "I think foreign guests will find this especially interesting, so please introduce them to my installation.'



時間:10:00am~6:00pm 会場:アステールプラザ 4 階 大広間

Time: 10am-6pm Place: Aster Plaza, 4th floor, Large Japanese-Style Room

# まじめなアニメーション狂たち Serious Lovers of Animation ASIFA-JAPAN 30th Anniversary Special

30周年記念特別展

一線級のプロフェッショナルの粋を感じてください。

producers and researchers.

A mustn't-miss event for future animators and kids!

Exhibits a collection of the biggest names in Japanese Animation.

YOU could be the one to pioneer the next generation of animation!

Come and see, and feel the professional spirit of Japan's leading animation artists,

Anniversary Special Exhibiton

Place: Aster Plaza,5th,6th floor Time: 10:00am~6:00pm 会場:アステールプラザ5階、6階 時間:10:00am~6:00pm



